

(2026年9月 30 日発表)

令和8年度全国学力・学習状況調査 静岡市 英語調査結果

【趣旨・背景】

- ・2026年4月20日から5月29日までの間、静岡市の全小学校6年生の児童及び全中学校3年生の生徒を対象にした全国学力・学習状況調査の、中学校英語の「話すこと」を含めた結果を公表します。
- ・この結果をもとに、静岡市教育委員会では、7月29日に公表済みのスケジュールに従い、取組を進めます。
- ・また、各中学校でも、学習指導の充実に役立てるとともに、次年度の教育課程の編成に生かします。

【内容】(詳細は、別紙のとおり)

静岡市の中学校 3 年生の英語における「話すこと」の結果の概要

- ・IRT スコア集計値(「話すこと」を加えた 4 技能)

※IRT(Item Response Theory:項目反応理論)

- ・問題の難易度や測定精度などの特性と、児童生徒の学力を区別して分析し、学力をスコアとして表す統計理論です。
- ・異なる問題で実施したテストや異なる集団の結果を比較できる特徴があり、2022年度から中学校理科に導入され、2026年度から中学校英語、2027年度から小学校国語と算数、中学校数学にも導入されます。

【留意点】

本調査で測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものです。結果の公表及び活用に当たっては、序列化や過度な競争につながることをないよう十分配慮し、適切に取り扱うようお願いいたします。

【問い合わせ先】

静岡市教育委員会 学校教育課(清水庁舎 8 階) 担当 小笠原、長田 電話:054-354-2521

【別紙資料等】

有(令和 8 年度全国学力・学習状況調査 静岡市 英語調査結果)

令和8年度全国学力・学習状況調査 静岡市 英語調査結果

1 英語調査日 令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

2 調査を実施した学校・生徒数

静岡市	学校数	生徒数
中学校3年生	41※／42校	4,103人

※1校は対象学年生徒の在籍なし。

3 英語調査の特徴

- ・中学校英語4技能調査（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと）の全面CBT*化
*CBT（Computer-based Testing）とは、コンピュータ使用型調査のこと
- ・結果はIRTスコアで表示。IRTスコアは、全国平均が500点になるように設定されている。

IRTを利用することで、単純な「正答数」だけではなく、異なる問題の組み合わせで受検した児童生徒同士でも、同じ尺度上で結果を比較できるようにしている。

4 結果の概要 IRTスコア集計値

	静岡市	静岡県	全国
英語4技能	518	513	499
英語3技能	517	513	499

※話すこと以外の3技能のスコアは7月に公表済み

- ・7月に公表済みの3技能のスコアに、「話すこと」を加えた4技能のスコアが新たに提供されたが、静岡市の結果は全国値を上回った。

5 成果

- ・目的、場面、状況をきちんと設定し、子どもが英語を話す必然性を感じながら英語を使う授業づくりを全市で取り組んできた成果が表れている。
- ・イングリッシュデイ等、ALTと話す機会を授業内外に設け、英語を使う場面を増やしてきた成果が表れている。

6 課題

- ・公開問題7問中7問において無解答率が全国と比べて高かった。

7 今後の取組

- ・定型の英語を覚えて使用するだけでなく、目的、場面、状況に合わせて自分の思いや考えを伝える場面を増やし、思考力、判断力、表現力が養われるような授業づくりができるよう、研修を行う。
- ・授業の中で、自分の思いや考えをもち、間違いを恐れず積極的に表現する場を設定する。